

2026年度 サステナビリティアクションプラン

部署名： **エコ・ライフサイエンス事業部**

| | 課名 | 内外区分 | マテリアリティ (重要課題) | SDGs目標 | サステナ影響 | リスク | 機会 | コミットメント | 具体的アプローチ (アクションプラン) | 成果指標 |
|---|-----------|-------|---------------------------|-------------------------------------|-------------------|---------------------------------------|-----------------------------------|--|--|--|
| 1 | エコケミカル課 | 外部の課題 | 健康で豊かな生活への貢献 安定的な調達・供給 | 6.(安全な水とトイレを世界中に) 14.(海の豊かさを守ろう) | 医療健康 水資源 | 規制強化、需要の高度化に伴う要求の変化への対応遅れ、オペレーション体制整備 | 水質管理・環境対応ニーズの高まりを背景とした需要拡大 | 素材の開発・安定供給による、すべての人の健康および安心・安全な生活環境の実現への貢献 | 水処理用途向け材料・部材の供給を通じ、環境対応製品の安定供給に向けた取組みを推進する | 販売実績に加え、供給体制の維持・強化および用途展開の推進状況、並びに新規取引機会の創出状況 |
| 2 | エコケミカル課 | 外部の課題 | 健康で豊かな生活への貢献 安定的な調達・供給 | 3.(すべての人に健康と福祉を) | 医療健康 汚染防止と資源循環 | 自動車市場動向および材料要求の変化に伴う需要変動 | 環境・安全性・快適性ニーズの高まりに適用した高機能摩擦材の需要拡大 | 素材の開発・安定供給による、すべての人の健康および安心・安全な生活環境の実現への貢献 | 人体および環境への配慮を踏まえたブレーキ摩擦材用途向け機能性原料の供給に向けた取組みを推進する | 販売実績に加え、供給体制の維持・強化および用途展開の推進状況、並びに新規取引機会の創出状況 |
| 3 | フードサイエンス課 | 外部の課題 | 健康で豊かな生活への貢献 | 12.(つくる責任、つかう責任) | 食品安全 | 食品安全規制の強化、品質要求の高度化への対応遅れ | 食品総菜市場への参入、品質保持ニーズの高まり | 素材の開発・安定供給による、すべての人の健康および安心・安全な生活環境の実現への貢献 | 日持ち向上剤の拡販を通じ、フードロス削減および品質保持に資する製品の供給に向けた取組みを推進する | 販売・導入実績に加え、食品ロス削減に資する取組の推進状況および用途展開、並びに新規取引機会の創出状況 |
| 4 | フードサイエンス課 | 外部の課題 | 健康で豊かな生活への貢献 | 3.(すべての人に健康と福祉を) | 食品安全 | 健康食品市場における規制強化および価格競争の激化による収益性低下 | 健康志向の高まりを背景とした機能性食品素材の需要拡大 | 素材の開発・安定供給による、すべての人の健康および安心・安全な生活環境の実現への貢献 | 機能性食品素材の拡販を通じ、人々の健康志向ニーズに対応した製品供給に向けた取組みを推進する | 販売・導入実績に加え、用途展開および提案活動の推進状況、並びに新規取引機会の創出状況 |